



京都画壇「竹内栖鳳アトリエ」にて

ジョン万次郎と村上憲郎が
時空を越えて“グローバル”を語る



開催 日時 2013 年 7 月 22 日 (月) 17 時 30 分～受付開始 18 時～本会開始
開催 場所 THE SODOH HIGASHIYAMA KYOTO 旧 THE GARDEN ORIENTAL KYOTO

2013 年 7 月 22 日 (月)、週初にもかかわらず、65 名もの参加を得て当会はスタートした。テーマ、祇園祭の最中の色濃いロケーションなどの魅力が、これだけの皆さんを呼び集めたのであろう。

まずは主催者京情協の長谷川会長の挨拶に始まり、講演会、そして食事をしながら聴く対談、フリーディスカッションへと、和気あいあいと会は運ばれて行った。

～中濱 京 氏 講演～



ジョン万次郎の一生から、その後より現在に至るまでの中濱家とホイットフィールド家の交流を核にした日米交流までを、資料に基づいてお話しいただいた。

坂本龍馬をはじめとする著名な幕末藩士たちの底流に大きく影響を及ぼしたであろうジョン万次郎だが、その存在は時として龍馬たちの存在に紛れてしまう。

そんな存在を、歴史として歴史学者などの語りを聞くのではなく、ジョン万次郎の DNA を引き継ぐ中濱さんから直に聞くことができたのは、単なる講演会ではなく、何かの引き合わせのようなものを感じた。

～乾 杯～

木下理事の音頭により高らかに乾杯！



～中濱 京 氏、村上 憲郎 氏 対談～



中濱氏の講演から、万次郎特有の発音ベースの英語表記を切り口として、現在の英語学習のあり方について語って頂いた。それからカタカナ表記、日本における英語教育のあり方、西周らによる翻訳の功績、発音の課題、首都圏の大学における英語教育の変革状況などから、グローバルの内容に話題が及ぶ。

現代と幕末をオーバーラップさせる形で、グローバルとは何であるか、その為に必要な教育とは何か、といったお話を展開していただき、グローバル社会に耐えうる人材育成に必要な英語教育の実際と現状、とりわけ東京で起きている現象についてのお話を赤裸々にお話しいただいた。

～ゲスト紹介～



吉國 譲治氏

公益財団法人ジョン万次郎ホワイトフィールド記念
国際草の根交流センター専務理事

杉本 節子氏

財団法人奈良屋記念杉本家保存会
事務局長 料理研究家



名川 知志氏

アクセンチュア株式会社
株式会社グランバ顧問

～歓 談～



参加者も主催者の京情協会員数と同数ほどの一般参加を迎え、会員外交流も今までに類を見ないほどのものであったことも特筆すべきである。

～車座懇談会～

そして最後に参加者を交えてのフリーディスカッション。会場からはズバリ「我が子を留学させるべきか、それともインターナショナルスクールに通わせるべきか」などという質問に対し、回答もズバリ「留学」というやり取りがあった。やはり、先の対談でも出された「切羽詰まった状態」をどちらが作りやすいかという事ではないだろうか。更に中濱氏に対しては「ジョン万次郎の漂異紀略（ひょうそんきりやく）」には、先に紹介頂いたものの他にもっと面白い内容がないか」という質問に対して、「何ページにもわたって描かれた、何両もつながった汽車（列車）の絵が面白い」との回答。その絵そのものも面白いが、はじめて見る長い列車をそう言うように表現したことが面白いということだった。他にもいくつかの質疑のうちにタイムリミットが容赦なく到来し、名残惜しみつつも閉会となった。



最後に本日のお題でもある「グローバルとは」という問いに対しては「お互い相手を知ること」という結論を見たように思いました。そのための欠かせないツールが「英語」であり、大いに「切羽詰まる・切羽詰まらせる」ことに尽きるようにも思いました。

～余話～

本会の後、希望者で二次会を開催しました。そこには講演者お二方にもご参加をいただき、更に一部の参加者との交流を深めていただけたことは、大変意義深いことでありました。



この場に参加者の皆さんを引き寄せていただいた

ジョン万次郎さんに感謝の気持ちを捧げます。

～中濱様よりのお知らせ～

(2013 年 8 月 20 日受信 中濱様よりのメール)

NHKの「歴史秘話ヒストリア」(水曜 22:00 - 22:43) 番組で万次郎をテーマに製作中で、先週末取材を受けました。

日にちはまだ確定していませんが、11月に放送を予定しています。

機会がありましたらご覧くださいませ。

～参加者よりのご感想～

(A様)

ジョン万次郎については まったく知らなかった。

人生とその後の子孫の皆様の活躍を知ることができ、人生の中で 最高の友を得ることの大事さを認識しました。

村上さんのおっしゃる通り、英語の重要さは日々の仕事の中で感じていますが、日本人としての 日本語、文化の継承も非常に大事です。

この両方を学べる 教育はできないものか 思いました。

(T様)

大変、貴重、かつ興味深いお話をお聞きでき光栄です

今回も会場といい、講演内容といい、素晴らしい企画で感嘆いたしました

今後もこのような企画がございましたらぜひお誘い下さい

楽しみにしております

(M様)

京都らしい会場に、ジョン万次郎という雅趣ある企画に興味を覚えて出席させていただきましたが、予想にたがわずいい話を聞かせてもらえました。

ご準備は大変だったかと思いますが、満足して帰途につきました。ありがとうございました。

(F様)

この度はお誘いいただき大変有難うございました。

本当に大盛況で楽しくまた会員の皆様と交流させて頂き厚く御礼申し上げます。

情報産業協会の IT 企業の会員様の活発な活動に刺激を受け多いに感銘と勉強になりました。

(O様)

非常に有意義で貴重な体験をさせて頂きました。

(Y様)

中濱京さんの講演、村上憲郎さんと京さんの対談、(株)グランパ名川顧問と(公財)奈良屋記念杉本家保存会杉本常務理事のお話は大変興味深く、また啓発されるものがありました。

さらに京都情報産業メンバーの方々の方々の活力と迫力には大いに驚かされました。

長らく沈滞してきた日本経済界を、京都発の新しい発想と動きとでは是非活性化させていただきたいところです。

京都は長い歴史と文化に育まれ、有形無形の資産に恵まれています、それに甘んじることなく進取の精神をいつも持ち続け、未来を切り拓いていこうとされる京都産業界皆様のこれからの活躍と発展を大いに期待しております。

～参加者～

(65 名)

<講師> 2名

中濱 京氏、村上 憲郎氏

<一般参加者> 29名

大日本スクリーン(株)、(株)Fmai (エフエムアイ)、(株)富士通システムズ・ウエスト、
(公財)国際草の根交流センター、(株)日本公文教育研究会、(株)堀場製作所、
慶応大学院アグリカルチャーゼミ、京都山口県人会、新川電機(株)、(株)エクソル、
川並鉄工(株)、洛和会ヘルスケアシステム、NTT、蒲郡NPO (2名)、旭コムテック(株)、
三菱電機(株)、三菱電機インフォメーションテクノロジー(株) (2名)
(株)ファルコビジネス・サポート、エプソン販売(株) (2名)、大阪府立大学、(株)クール企画、
(株)ディー・エス・アイ、(公・財)奈良屋記念杉本家保存会、(株)アール・エム・アイ、
NTT 西日本 京都支店、村上 和美氏 (村上憲郎氏夫人)

<賛助会員参加者> 1名

富士通(株)京都支店

<会員参加者> 32名

(株)ユニシス (2名)、インフォニック(株)、(株)日本電算機標準 (2名)、
(株)たけびし (3名)、カゴヤ・ジャパン(株)、(株)島津ビジネスシステムズ (3名)、
平井(株)、京都情報大学院大学・京都コンピュータ学院 (2名)、
システムプロデュース(株)、(株)システム創見、ジック(株)、
星和テクノロジー(株) (2名)、(株)京信システムサービス、
バンネットワーク(株) (2名)、(株)エクザム (4名)、(株)ウェルアソシエイツ (5名)

<司会> 1名

道家 華子氏